



木曾 義和さん (圃場：南房総市千倉町)

大学在学中にインドやネパールを放浪、日本中を自転車で旅して回った。卒業後、半導体関連企業に就職。早期退職後、元々興味があった農業に携わるため農業大学校に通い、元学校長が栽培していたブルーベリーに興味を持ち、ノウハウなどの技法を一から学び、独立して現在に至る。

○栽培作物について

主にブルーベリー栽培をしており、他に食用菜花や米を作っています。現在、試行段階ではありますが、アーモンド栽培にも着手しています。

○栽培のスケジュール&栽培の大変さ

基本は1人で作業しており、12月に肥料を入れて土作りを行い、12月〜3月に挿し木で作った苗を植えて、12月で余分な枝を切り落とすなど剪定作業を行い、6月後半〜8月初旬に収穫を行います。収穫体験も行っているのですが、草刈りも1週間に1回を目安に行っています。また有害鳥獣なども天敵であり、闘いの日々を過ごしています。

ブルーベリー栽培において特に重要なのが土作りです。

ブルーベリーは酸性の土で育つので、硫黄をはじめ、牛糞やリン酸石灰を肥料として与え、土作りを行います。化学肥料で行ってしまうは楽なのですが、ここで妥協すると甘味のあるブルーベリーが育ちません。土作りでブルーベリーの出来が決まると言っても過言ではありませんので、土づくりに手間暇をかけたおかげで、糖度が20度を超える甘いブルーベリーが作れるようになり、年に複数回買ってきてくださる方など顧客獲得に繋がりました。苦労した点は、令和元年の台風の影響で300本の木が倒木や塩害によってダメになってしまい、非常に痛手となったことです。

○ブルーベリーの魅力

無農薬で栽培できるのが魅力です。無農薬で作っているのに、春に毛虫が発生したら見つけ次第捕まえています。

【購入可能な直売所】

『道の駅
グリーンファーム館山』
営業時間：9：00～17：00
住所：館山市稲274番地
TEL：0470-29-7015
定休日：なし
販売時期は、7月・8月になります。
(今シーズンの販売は終了しました)



○収穫量について

収穫量は、年間約300kgになります。ブルーベリーは雨が降ると大きく成長し、育ちすぎると破果します。逆に雨が降らないとしなびてしまふ繊細な果実です。収穫は一つ一つ手摘みで行っています。

おすすめの食べ方

糖度の高いブルーベリーなので、そのまま食べていたきたいです。ジャムなどで加工する際も甘味が十分にあるので砂糖の使用をひかえめにしても十分に甘味があります。

今後の展望について

現在栽培している畑は元々耕作放棄地でした。木や竹などが生い茂るまさに森みたいな所で、まわりの方々に力を借りて開拓して、畑までの道は人や車が通れるようコンボに乗って作業して、削岩機で削って作りました。それでも畑の周りに開拓できる土地がまだ沢山残っているので、そこを切り拓いていき、散歩コースなど地元の方や観光客がのんびりできる場所を作っていきたいです。

消費者の皆様へ一言

毎年買い求めにきてくださる方には本当に感謝しています。中には10kg近く買う方もいらっしゃるし、冷凍保存が可能なので1年分をまとめ買っている方もいます。また、ドイツやアメリカなど外国人の方も買い求めにきてくださって大変光栄に思います。まずはブルーベリーを食べて魅力を知ってもらえると大変嬉しいです。

【加工品の紹介】

木曾さんの作ったブルーベリーは、ジャムでも味わえます！
下記店舗で購入可能です
『館山フルーツ工房』
住所：館山市館山1024-3
営業時間：10：00～18：00
定休日：不定休
問い合わせ：0470-29-5090
木曾さんのブルーベリーと収穫した桑の実を使用したジャム

